

# トヨタ財団 2012 年度国内助成プログラム

## 「人がつながり、地域が動く ー共に拓く地域の未来」

### 募 集 要 項

応募受付期間 (Web) : 2012 年 10 月 9 日 (火) ~ 2012 年 11 月 19 日 (月) 17 時  
応募受付期間 (郵送) : 2012 年 10 月 9 日 (火) ~ 2012 年 11 月 19 日 (月) 消印有効

本プログラムは、日本国内における地域社会の再生・構築に向け、これまで、地域が直面する課題の解決をめざす、実践的な活動を支援してまいりました。

本年度は公募テーマを「人がつながり、地域が動く ー共に拓く地域の未来」と設定し、多様な個人、団体、組織が共に連携し、地域にくらす人びとの主体性をつながり育み、課題の解決に向けて真正面から取り組む、持続的かつ意欲的なプロジェクトを広く募ります。

具体的には、地域の歴史や文化、人と自然の関係、さまざまな経験や生活の知恵、また他の地域との交わりを「継ぐ」こと。また、人びとが地域の課題や将来像・長期目標を共有する「場」や「機会」の創出、継続的な取り組みを担う「組織」や「ネットワーク」の構築、それらを支える「制度」や「施策」の策定など、具体的な成果を「つくる」こと。そして、これらの成果を中心として、より多くの人びとが「つながる」ことにより、課題解決が図られることを切に期待します。

また、本年度は従来の公募枠「活動助成」に加え、新たに「地域間連携助成」のカテゴリーを設けました。「地域間連携助成」では、共通の課題を有している複数の地域が、互いにノウハウを共有し、地域を超えて課題の解決に取り組む活動を対象として助成を行います。

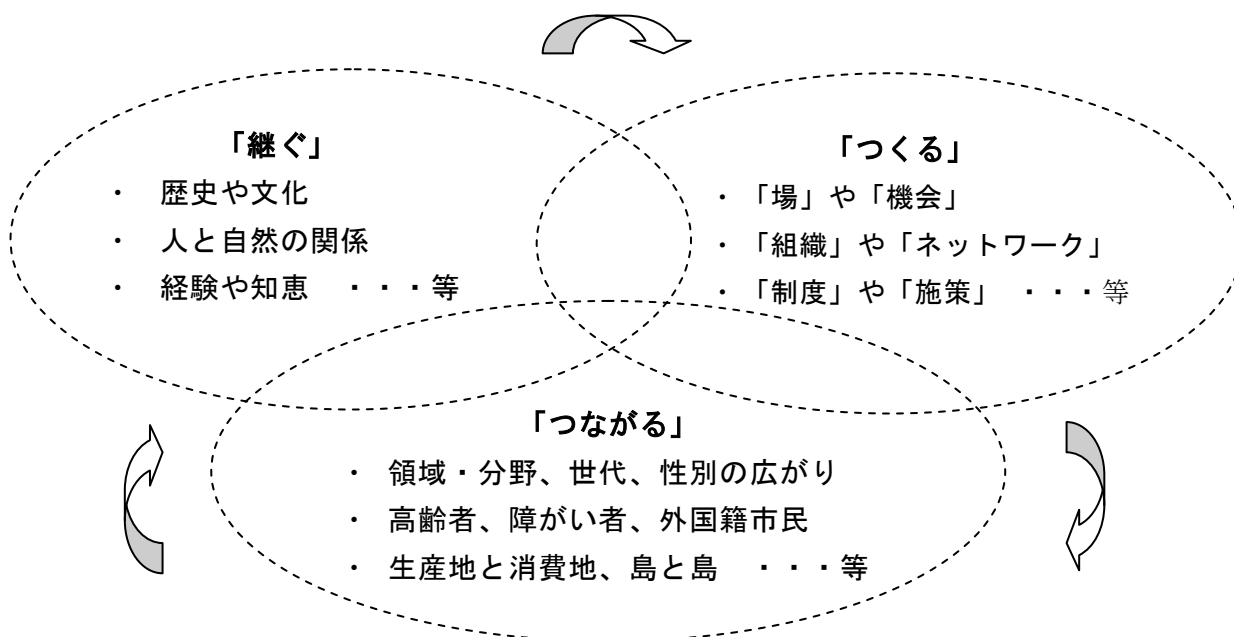
一つ一つのプロジェクトが、それぞれ創意に満ちた活動を通じ、課題の解決を図り、また、その挑戦がさらなる挑戦を喚起することにより、地域の自立が促進され、さまざまな人びとが豊かな関係を結ぶ、活力に溢れる地域社会が実現されることを強く願っています。

**※ この枠組みでは、東日本大震災における被災地の復興をテーマとした取り組みは対象となりません。(本年度の東日本大震災対応「特定課題」の公募は終了しました。)**

## II 助成の対象

本プログラムでは、地域の課題の解決に向けて「継ぐ」「つくる」「つながる」というプロセスを重視し、地域に生きる人びとの主体性とつながりを育み、地域が直面する課題の解決に結び付くプロジェクトを募集します。募集に当たり、領域・分野（医療・福祉、教育、まちづくり、文化、環境等）は限定しません。

※ 各カテゴリーの要件等の詳細については、次項以降をご覧ください。



### 「継ぐ」

地域の歴史や文化、人と自然のかかわり、さまざまな経験やくらしの知恵、他の地域との関係などを理解した上で、適切な資源（人、モノ、情報、資金等）を抽出し、活かすことが、地域の課題の解決を図る上で、重要な前提になると思われます。

### 「つくる」

地域の課題や将来像を広く共有するための「場」や「機会」の創出、継続的な活動のための「組織」や「ネットワーク」の構築、それらを支える「制度」や「施策」の策定など、具体的な成果を生むことが、人びとの主体性とつながりの強化に必要であると言えます。

### 「つながる」

広範な領域・世代、異なる立場・背景の人びとが、絆を結び、支え合うことにより、地域の課題の解決が促進され、さらなる課題の解決をめざす、新たな活動が喚起されると期待されます。

### Ⅲ 公募カテゴリーと助成の要件

#### ◆ 公募カテゴリーについて

カテゴリー	活動助成	地域間連携助成
募集期間	2012年10月9日～11月19日 <Web(17時)、郵送(消印有効)>	
プロジェクト助成期間	2013年4月1日より1年間または2年間	
1件あたりの助成額	1年間上限300万円まで ※2年間の場合は、上限600万円まで	上限1,000万円まで ※1年間・2年間とも
助成総額	6,000万円	2,000万円
対象地域	日本国内 【特定の地域（もしくは近接した地域同士の連携）を対象とした取り組み】	日本国内 【都道府県または行政区画（市町村レベル）をまたぐ複数の地区】 ※比較的近接した地域同士の連携は、「活動助成」でのご応募をお勧めします。
助成の対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に生きる人々が主体となり、地域社会の再生・振興に向けて、「継ぐ」「つくる」「つながる」というプロセスに基づき、対象地域の地域課題の解決に具体的に結びつく、持続的かつ意欲的な取り組みであること。</li> <li>・地域の課題について多くの人に知ってもらい、「自分ごと」として感じてもらえるきっかけや機会の創出を視野に入れた取り組みであること。</li> </ul> <p>※ 既にノウハウをもつ地域の住民・団体が、共通の課題を抱える地域へノウハウを移転することを目的とした活動も対象となります。</p>	<p><u>左記「活動助成」の要件に加え、</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクトの実施主体に実績があり、活動の理念が明確であること。</li> <li>・同じ課題を抱える地域の住民・団体同士が連携し、お互いのノウハウやネットワークを活かしながら、共に課題解決に取り組む活動であること。</li> <li>・活動終了後も地域間の持続的なつながりや、協力関係の創出につながる取り組みであり、その成果が広く社会に波及することが期待される取り組みであること。</li> </ul>
助成の決定	外部有識者によって構成される選考委員会の審査を経て、理事会にて決定。	

#### ◆ 「プロジェクト形式」について

本プログラムでは、単一の組織の経常的な事業に対してではなく、プロジェクト・チームによる「プロジェクト形式」の活動に対して助成を行います。

助成プロジェクトには、対象となる課題に適切な方法で取り組み、所定期間の内に、当初に設定した目標を、一定程度達成することを求めます。このことにより、プロジェクトの結果が、その後も継続的に作用し、波及的な効果を生じることを期待します。

#### ◆ 両カテゴリーに共通する要件

- 1) プロジェクト・チームのメンバー構成が、その活動の目的に応じ、領域、若者を含む多様な世代、性別等の広がりをもっていること。
- 2) プロジェクトの情報が、ウェブサイト、ブログ、メールマガジン、ニュースレター等の媒体を通じ、頻繁かつ広域に発信されること。
- 3) プロジェクトにおいて、一定の自己資金が投入される用意のあること。

## IV 助成金、プロジェクト実施期間

#### ◆ 助成金の使途について

- 1) 助成金からの「人件費」および「事務局経費」の支出については、原則として、両方の合計金額を助成金額の50%未満としてください。
- 2) パソコンや福祉車両など、物品の購入のみを目的とする応募は、選考・助成の対象になりません。

#### ◆ プロジェクト実施期間

2013年4月1日から2014年3月31日までの1年間、  
または、2013年4月1日から2015年3月31日までの2年間。

## V 当財団とのコミュニケーション

### ◆ 助成開始（覚書の交換）

助成対象となるプロジェクトの代表者は、当財団と覚書を取り交わした上で、その内容に基づいてプロジェクトを実施することになります（未成年の方が代表者となる場合には、成人の方が連絡責任者となり、代理人として手続きを行ってください）。

### ◆ 相談、調整

当財団のプログラム・オフィサーが、必要に応じ、また代表者や主なメンバーからの要望があった場合に、プロジェクトの活動の場を訪問し、その進捗状況や見通しなどについて相談、調整を行います。

### ◆ ワークショップ、シンポジウムなど

助成対象となるプロジェクトの代表者や主なメンバーには、当財団主催のワークショップやシンポジウムなどで、プロジェクトの進捗状況や、結果の見通しなどについて報告し、他の助成対象者との交流・情報共有を図ったり、有識者との意見交換を行ったりすることを依頼することがあります。

### ◆ 経過報告、実施報告

助成プロジェクトの主体には、当財団に対し、所定の期日までに「経過報告書」、「実施報告書」、「会計報告書」等（所定書式）をご提出いただきます。

### ◆ 継続助成

助成対象となるプロジェクトの代表者や主なメンバーが中心となり、活動地域やその近隣の地域を対象として、助成プロジェクトとの関連性の高い新たなプロジェクトを企画し、次年度の本プログラム、または当財団のほかのプログラムに応募することは、原則として認めません。

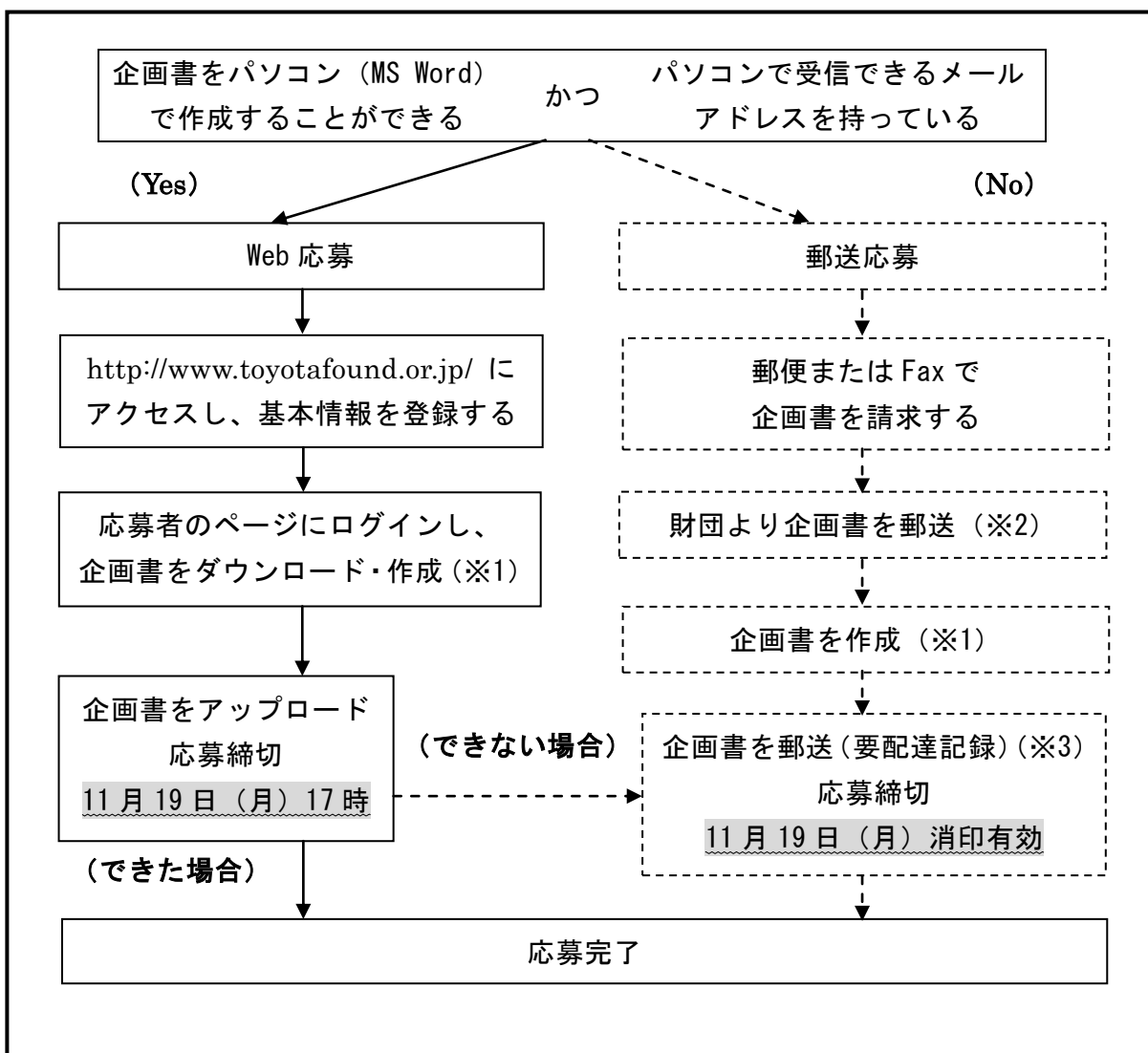
## VI 応募の手続きおよび選考について

### ◆ 応募受付期間と応募方法

応募受付期間（Web）：2012年10月9日（火）～ 2012年11月19日（月）17時

応募受付期間（郵送）：2012年10月9日（火）～ 2012年11月19日（月）消印有効

Web から応募される場合は、上記期間中に当財団ウェブサイト（<http://www.toyotafound.or.jp/>）で基本情報の登録を行ってください。登録後、企画書をダウンロードすることができます。以下、応募の手続きについて図示します（詳細については「Web 応募ガイド」をご参照ください）。



- ※1 企画書には、日本語で記入してください。
- ※2 パソコン環境などのために、Web からの登録が難しい場合、企画書を郵送しますので、送付先の①住所、②氏名、③電話番号を、はがきまたはファックスにて、次頁「お問い合わせ先」までお知らせください。
- ※3 企画書を郵送で提出される場合、「国内支援グループ」宛（次頁「お問い合わせ先」参照）に、簡易書留や宅配便など、必ず配達記録の残る手段でご郵送ください。

#### ◆ 企画書の受理

Web 応募をご利用の場合、応募者専用ページの「企画書提出状況欄」をご確認ください（2012年12月28日まで閲覧できます）。郵送で企画書を入手し、応募された場合、2012年11月中に「受付はがき」にて「受付番号」をお知らせします。

#### ◆ 選考方法

助成の可否は、外部有識者によって構成される当財団「国内助成プログラム選考委員会」（選考委員長：中村安秀・大阪大学大学院教授）にて選考を行った上で、2013年3月の当財団理事会にて決定される予定です。選考の過程では、必要に応じて、プロジェクトに関するヒアリング調査への協力などをお願いすることがあります。

#### ◆ 選考結果

選考結果については、上記理事会終了後に、連絡責任者宛にメールにてご連絡する予定です。4月以降もお知らせが届かない場合、お手数ですが、当財団までお問い合わせください。

#### ◆ その他

助成プロジェクトの主体に対しては、その活動の目的や内容が、政治、宗教、思想、営利等に偏向せず、また閉鎖性が強いものでないことが求められます。プロジェクト・チームを構成するメンバーについては、国籍、性別、学歴等による制限はありません。

企画書内の個人情報、選考・統計資料作成、応募者への連絡等事務作業に使用します。法令で認める場合を除き、応募者の同意なく上記目的以外に使用することはありません。

### お問い合わせ先（企画書提出先）

〒163-0437

東京都新宿区西新宿2丁目1番1号 新宿三井ビル37階 私書箱236号

公益財団法人トヨタ財団 国内支援グループ

TEL 03-3344-1701 FAX 03-3342-6911

※ お送りいただいた企画書が当方に到着したか否かのお問い合わせはご遠慮ください。

※ 採否の理由などに関するお問い合わせには応じかねます。